

寝屋川市水道事業の業務状況

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

寝屋川市上下水道局

1 事業の概況及び経理の状況

(1) 事業の概況

【業務の状況】

区分	令和5年度上半期 (A)	(参考)	
		令和4年度上半期 (B)	比較(A-B)
給水人口 (人)	226,083	227,957	△ 1,874
給水戸数 (戸)	112,582	112,171	411
配水量 (m ³)	11,543,501	11,729,472	△ 185,971
有収水量 (m ³)	11,293,043	11,465,705	△ 172,662
給水人口増減 (人) [対 前年度下半期]	△ 610	△ 560	△ 50
給水戸数増減 (戸) [対 前年度下半期]	307	452	△ 145

【建設改良事業の状況】

当期において発注した主な建設工事

事業名	金額 (税込み・円)
平池町地区配水管布設替工事	87,270,700
秦町地区配水管布設替工事	53,165,200
萱島東三丁目地区配水管布設替工事	94,144,600
萱島東一丁目外2町地区配水管布設替工事	93,201,900
萱島桜園町・萱島東一丁目地区配水管布設替工事	51,558,100

(2) 経理の状況

○ 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：円）

1	営業収益			
	(1) 給水収益	1,720,436,677		
	(2) 受託工事収益	1,992,413		
	(3) その他営業収益	<u>8,286,910</u>	1,730,716,000	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	771,663,132		
	(2) 配水及び給水費	59,382,551		
	(3) 受託工事費	10,396,291		
	(4) 業務費	113,809,701		
	(5) 総係費	52,340,272		
	(6) 減価償却費	0		
	(7) 資産減耗費	<u>1,322,000</u>	<u>1,008,913,947</u>	
	営業利益			721,802,053
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	429,515		
	(2) 加入金	74,933,494		
	(3) 長期前受金戻入	0		
	(4) 雑収益	<u>1,706,901</u>	77,069,910	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	57,542,601		
	(2) 雑支出	<u>446,202</u>	<u>57,988,803</u>	<u>19,081,107</u>
	経常利益			740,883,160
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	0		
	(2) その他特別利益	<u>0</u>	0	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	0		
	(2) その他特別損失	<u>26,528,091</u>	<u>26,528,091</u>	<u>△ 26,528,091</u>
	当期純利益			714,355,069

(注) 減価償却及び長期前受金の収益化を年度末に一括で処理するため、減価償却費及び長期前受金戻入は計上していない。

資産の部

1	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	イ 土地		1,267,175,026	
	ロ 建物	1,966,544,514		
	減価償却累計額	<u>△ 1,302,724,282</u>	663,820,232	
	ハ 構築物	5,765,735,536		
	減価償却累計額	<u>△ 2,737,453,963</u>	3,028,281,573	
	ニ 導送配水管	22,031,547,445		
	減価償却累計額	<u>△ 11,941,846,662</u>	10,089,700,783	
	ホ 機械及び装置	6,360,605,148		
	減価償却累計額	<u>△ 4,949,428,707</u>	1,411,176,441	
	ヘ 工具器具備品	138,228,186		
	減価償却累計額	<u>△ 112,608,008</u>	25,620,178	
	ト 量水器	263,347,383		
	減価償却累計額	<u>△ 46,695,688</u>	216,651,695	
	チ 建設仮勘定		<u>433,570,076</u>	
	有形固定資産合計			17,135,996,004
	(2) 無形固定資産			
	イ 電話加入権		<u>57,240</u>	
	無形固定資産合計			<u>57,240</u>
	固定資産合計			17,136,053,244
2	流動資産			
	(1) 現金預金		5,968,641,400	
	(2) 未収金	392,854,961		
	貸倒引当金	<u>△ 9,577,380</u>	383,277,581	
	(3) 前払金		94,568,873	
	(4) 短期貸付金	0		
	貸倒引当金	<u>0</u>	0	
	(5) その他流動資産		<u>132,897,095</u>	
	流動資産合計			<u>6,579,384,949</u>
	資産合計			<u>23,715,438,193</u>

負債の部

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>9,192,206,394</u>	
	企業債合計		9,192,206,394
	(2) 引当金		
	イ 退職給付引当金	264,439,389	
	ロ 修繕引当金	<u>88,550,566</u>	
	引当金合計		<u>352,989,955</u>
	固定負債合計		9,545,196,349
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>260,603,697</u>	
	企業債合計		260,603,697
	(2) 未払金		115,912,905
	(3) 前受金		13,880,000
	(4) 引当金		
	イ 賞与引当金	0	
	ロ 法定福利費引当金	<u>0</u>	
	引当金合計		0
	(5) 預り金		75,364,412
	(6) 仮受消費税		<u>179,796,128</u>
	流動負債合計		645,557,142
5	繰延収益		
	長期前受金		2,831,335,788
	収益化累計額		<u>△ 1,921,931,952</u>
	繰延収益合計		<u>909,403,836</u>
	負債合計		<u><u>11,100,157,327</u></u>

資本の部

6	資本金		6,269,625,449
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 再評価積立金	71,688	
	ロ 受贈財産評価額	<u>16,983,061</u>	
	資本剰余金合計		17,054,749
	(2) 利益剰余金		
	イ 減債積立金	811,382,593	
	ロ 建設改良積立金	1,895,101,599	
	ハ 当年度未処分利益剰余金		
	繰越未処分利益剰余金	2,907,761,407	
	その他未処分利益剰余金	0	
	当年度純利益	<u>714,355,069</u>	
	利益剰余金合計		<u>6,328,600,668</u>
	剰余金合計		<u>6,345,655,417</u>
	資本合計		<u>12,615,280,866</u>
	負債資本合計		<u><u>23,715,438,193</u></u>

2 令和4年度の決算の状況

水道事業が置かれている環境は、節水型生活様式の進展や給水人口の減少等により、今後も配水量の減少が続くものと予想される一方で、人口急増期に急速に整備してきた管路や水道施設の更新時期の到来、大規模地震等の災害に備えた耐震化の促進等、水道事業においては、様々な課題を解決しながら、安全な水道水を安定的に供給し続けていくことが求められています。

このような中、本年度においても第六次総合計画を基本とし、「第10期施設等整備事業計画」及び「水道ビジョン第4期実施計画」の着実な実施に努めるとともに、水道事業経営の基本となる投資・財政計画である「上下水道事業経営戦略」に基づき、投資と財政が均衡する持続可能な水道を実現するための取組を推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、水道料金の支払猶予などの取組や、物価高騰に伴う経済的支援として水道料金基本料金の免除を実施しました。

【決算概要】

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

項目	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
水道事業収益 ①	4,145,095	4,186,153	△ 41,058
水道事業費 ②	3,670,821	3,659,675	11,146
差引 ③ (①-②)	474,274	526,478	△ 52,204
税抜き処理による増減額 ④	△ 120,354	△ 97,399	△ 22,955
純損益 (③+④)	353,920	429,079	△ 75,159
利益剰余金	6,114,246	5,760,326	353,920

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

項目	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
資本的収入 ①	679,929	688,373	△ 8,444
資本的支出 ②	1,967,063	1,705,827	261,236
差引 (①-②)	△ 1,287,134	△ 1,017,454	△ 269,680

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,287,134千円は、建設改良積立金500,000千円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額120,354千円、損益勘定留保資金666,780千円で補てんした。

【業務量】

区分	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
給水人口 (人)	226,693	228,517	△ 1,824
給水戸数 (戸)	112,275	111,719	556
年間総配水量 (m ³)	23,307,778	23,688,014	△ 380,236
年間有収水量 (m ³)	22,763,244	23,119,187	△ 355,943
有収率 (%)	97.7	97.6	0.1

【経営指標】

区 分	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
給水原価 (円/m ³)	146.1	142.9	3.2
供給単価 (円/m ³)	121.8	150.1	△ 28.2
料金回収率 (%)	83.4	105.0	△ 21.6
経常収支比率 (%)	113.1	112.7	0.4
有形固定資産減価償却率 (%)	57.8	58.8	△ 1.0
管路経年化率 (%)	24.5	23.6	0.9
管路更新率 (%)	0.6	0.7	△ 0.1

【主要事業】

事業名	概要	決算額 (円)
水道料金 (基本料金) の免除	<p>コロナ禍において物価高騰等に直面する市民や事業者に対して、水道料金のうち基本料金を免除し、経済的負担の軽減を図った。</p> <p>【免除対象】 令和4年9月～12月検針分及び令和5年2・3月検針分の基本料金6か月分</p> <p>【基本料金 (1か月分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般用 1,060円 ・特定施設用 8,250円 ・公衆浴場用 28,851円 ・臨時用 519円 ・家事共用 1,245円 <p>※免除に要した費用は、一般会計が全額負担</p>	724,341,225
水道管路の耐震化	<p>災害に強い水道を目指し、災害時に重要となる施設 (災害医療協力病院など) につながる水道管や、経年化した水道管を更新し、耐震化を推進した。</p> <p>【工事延長】 3,781.4m 【口径】 50mm～500mm</p>	998,807,700
旧取水施設撤去事業	<p>旧取水施設について、令和元年度に水利権を廃止したことに伴い、当該施設の撤去工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水ポンプ室撤去 等 	100,619,100